

編集後記

どのくらい前だったろうか、塚本哲三編『漢文叢書 醉古堂劍掃全 葉根譚 全』(有朋堂、東京、昭和3年)という古書を、柄にもなくふと手にしていた。折に触れてページを捲っていたが、最近

文章之妙。語快令人舞。語悲令人泣。語幽令人冷。語憐令人惜。語險令人危。語慎令人密。語怒令人按劍。語激令人投筆。語高令人入雲。語低令人下石。
(巻五174-175頁)

とあるのが目に留まった。会誌の編集委員をさせていたでいるからだろうか。

蒼蠅附驥。捷則捷矣。難辭所後之羞。蘿蔦依松。高則高矣。未免仰攀之恥。所以君子寧以風霜自挾。毋為魚鳥親人。
(巻三99頁)

ともある。自分の研究の進展の遅さの言い訳になるとは思いたくない。

少年休笑老年顛。及到老時顛一般。只怕不到顛時老。老年何暇笑少年。
(巻四144頁)

などという言葉に共感する自分に驚いたりすることもある。ようやく半分程読み進んだところだが、この先もいろいろな言葉に出会うのだろう。どっぷり浸って読んでいないので一通り読了するのは未だ遙か先のことだが。

万事皆易満足。惟讀書終身無尽。人何不以不知足一念。加之書。
(巻四134頁)

繰り返し読み返せばもっと深い読み方、違った読み方もできるのだろう。

漢文の素養があるわけではないし、況や講義などするわけでもないので誤読や誤解があっても差し障りはない—この編集後記に書いて恥を晒しているかもしれないことを危惧してはいる。自分なりの読み方で自分なりの解釈をして自分の心に響くものが有ればよし。無ければ無いで読み飛ばすだけ。

事有急之不自白者。寬之或自明。
(巻四158頁)

このような読書も偶にはいいものですね。

なお、引用に際し、正誤は保証の限りではありませんが旧字体を常用漢字に換えています。
(齋藤和史)

プラズマ・核融合学会役員

会 長：小森 彰夫 副会長：吉田 善章(推薦委員長:学会賞,男女共同参画委員長) 白谷 正治(推薦委員長:研究助成)
常務理事：室賀 健夫(総務委員長)
理 事：浅野 克彦(財務委員長) 浅野 史朗 上田 良夫(年会運営委員会プログラム委員長)
内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長) 小野 靖(年会運営委員長) 岸本 泰明(研究部会連絡委員長)
草間 義紀 久保 博孝(広報委員長) 坂本 瑞樹
佐々木浩一(企画委員長) 白神 宏之 豊田 浩孝
長谷川 晃 波多野雄治(編集委員長)
監 事：利根川 昭, 森田 純子

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：波多野雄治(富山大) 副委員長：坂本瑞樹(筑波大)
エディタ：金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員：安堂正己(量研機構), 石野雅彦(量研機構), 稲垣 滋(九大), 伊庭野健造(阪大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 齋藤和史(宇都宮大), 佐々木徹(長岡技科大), 佐藤雅彦(核融合研), 清水昭博(核融合研), 須田善行(豊橋技科大), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 龍野智哉(電通大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(量研機構), 西塚直人(NICT), 比村治彦(京都工繊大), 村上朝之(成蹊大), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 柳 長門(核融合研), 余語覚文(阪大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第93巻第3号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2017年(平成29年)3月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。